

ゼミナール決定参考資料

教員名： 江頭 大藏 指導教科： 社会学

① 研究・関心領域内容

エミール・デュルケームの社会学理論(アノミー論、自殺理論、宗教理論)と日本社会へのその応用。少子化現象、性別・年齢別・地域別の自殺率増減のメカニズムの解明。

② 自己紹介<こんな学生を募集しています>

私自身は文学部出身ですので、法学部的な考え方と距離があるのかなと思っていましたが、最近社会学を勉強した同窓生が法務教官として矯正施設の長となっていたり、家庭裁判所調査官においていただいて講義で調査の話をしてもらったりと、専門分野的に重なるところも多いのかなと感じています。募集学生は、

- ・人間と社会に幅広い興味を持ち、解決すべき社会問題を発見できる人。
- ・他者への配慮や気配りができ、問題の解決に向けて自ら進んで行動のできる人。

③ 現在の人数： 三年生 0人 四年生 4人

④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

社会学は具体的に取り扱う対象が多様ですので、ゼミ生各自が自ら設定したテーマについて学習・研究を進めます。例えば、現在のゼミ生のテーマは、都市化、過疎化の原因、町おこしの行政的推進、表現の社会的規制など。また、共同作業にも取り組んでもらいたいのので、数名がグループとなって共通テーマで手分けをして研究を進めるグループ研究も平行して実施しています。テーマの例としては、デジタル・デバイド、ワーキング・プアなど。

⑤ 授業形態(発表、討論、講義など)

基本的にゼミ生各自が自分の研究テーマについて文献を報告し、それについて質疑応答をしたり今後の研究の方向について検討したりするというものです。研究テーマが決まるまでの基本文献の講読、報告の仕方やレポートの書き方についての説明などもあります。

⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします!

社会学は具体的な研究対象の範囲が非常に広いので、大体どんなことでも研究テーマとすることができます。法律学や政治学分野との境界領域(犯罪・逸脱行動、家族問題、官僚制、労働問題、社会保障、国際関係…等々)も多々ありますので、社会的アプローチで様々な社会現象に接近してみたいと思う方、歓迎します。

⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

現在は4年生のみ参加していますので、前期は公務員試験など就職活動の影響でかなり不規則な授業のやり方でしたが、現在はほぼ落ち着いています。後期からは広島大学の3+1プログラムで留学生2名が参加しています。

⑦ ゼミ生に希望すること

②に加えて、社会学は対象に対するアプローチが独特ですので、社会調査論、社会調査法、社会学1・2、法社会学などの関連各木2年次までに履修しておくのが望ましいです

⑧ 成績評価の方法

報告資料の充実度、プレゼンテーションの効果、レポートの出来映えによって評価します。

⑨ ゼミ生選考方法

これまで選抜が必要なほど希望者が殺到したことはありませんし、今回も必要ないと思います。